

◆ 今週のコメント

- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は、0.18(12例)と減少しています。
- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、7.20(295例)で、第10週(6.68)に比べて少し増加しています。第3週以降、過去5年平均値を上回る状態が続いています。
- ・ 百日咳の報告が、1例(10～14歳)あります。本年の累積報告数は4例となっています。
- ・ 流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、0.59(24例)で、第4週以降、過去5年平均値を上回る状態が続いています。

◆ 今週のトピックス:<手足口病>

定点当たり報告数は、0.59で、先週(0.76)に比べてやや減少しているものの、この時期としては引き続き多くの報告があります。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ お知らせ

3月24日現在の病原体情報(市内3箇所 of 病原体定点医療機関からの検体から検出された病原体(ウイルスや細菌)の情報)をホームページ(<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000072537.html>)に掲載しましたので、御覧ください。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・ 二類:結核 2例(肺結核 2例, 肺外結核 なし, 無症状病原体保有者 なし), (喀痰塗抹陽性 1例)
【1月以降の累積報告数 57例(肺結核 36例, 肺外結核 12例, 無症状病原体保有者 9例), (喀痰塗抹陽性 12例)】

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.18	12
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.20	295
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.95	39
	③ 水痘	0.78	32
	④ 手足口病	0.59	24
	④ 流行性耳下腺炎	0.59	24
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

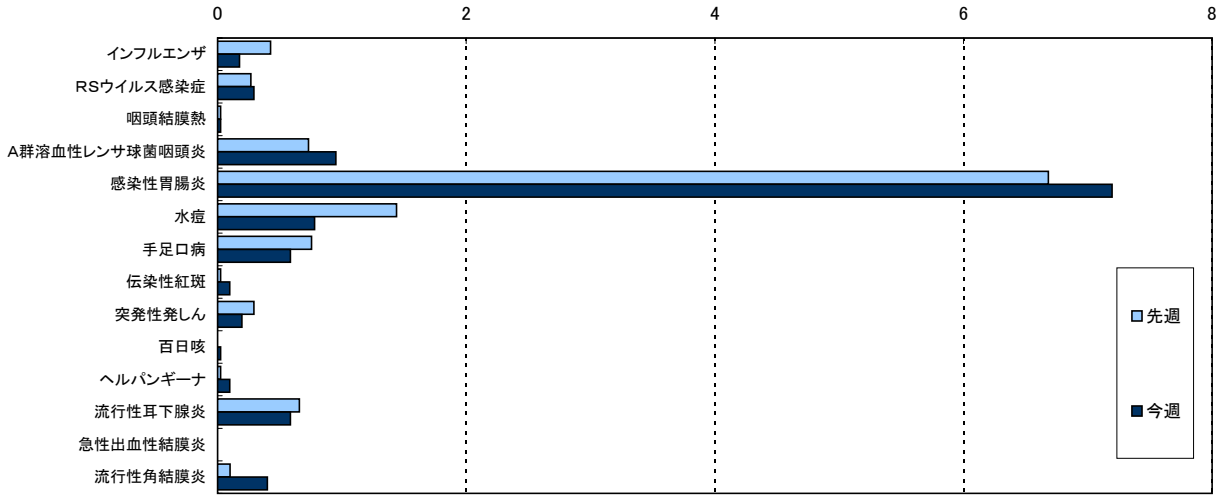
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<手足口病>

(注)京都市のデータは、平成22年3月25日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。

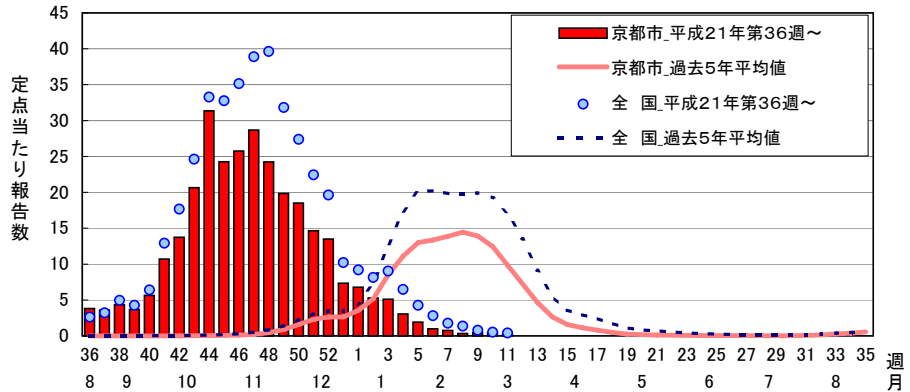
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第11週)と先週(第10週)の定点当たり報告数の比較



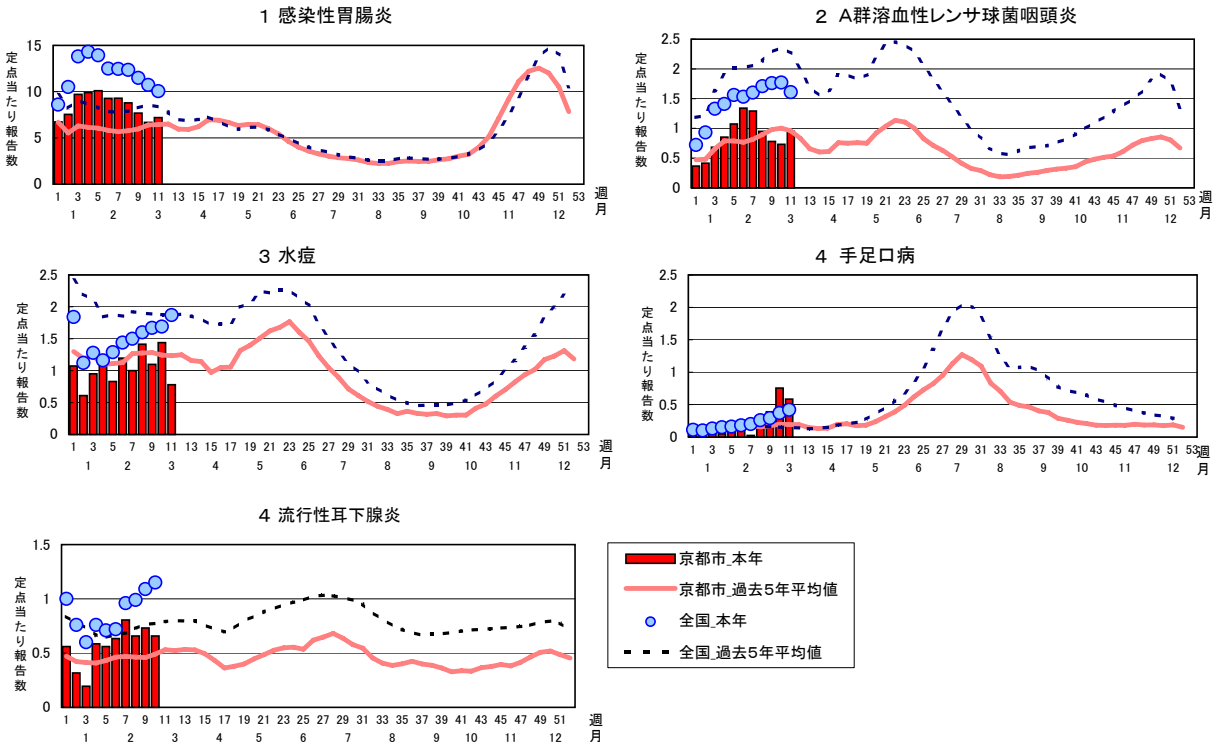
2 インフルエンザの推移

週	報告数(例)
第7週	52
第8週	23
第9週	29
第10週	29
第11週	12
累積報告数 (第36週以降)	20,368



3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



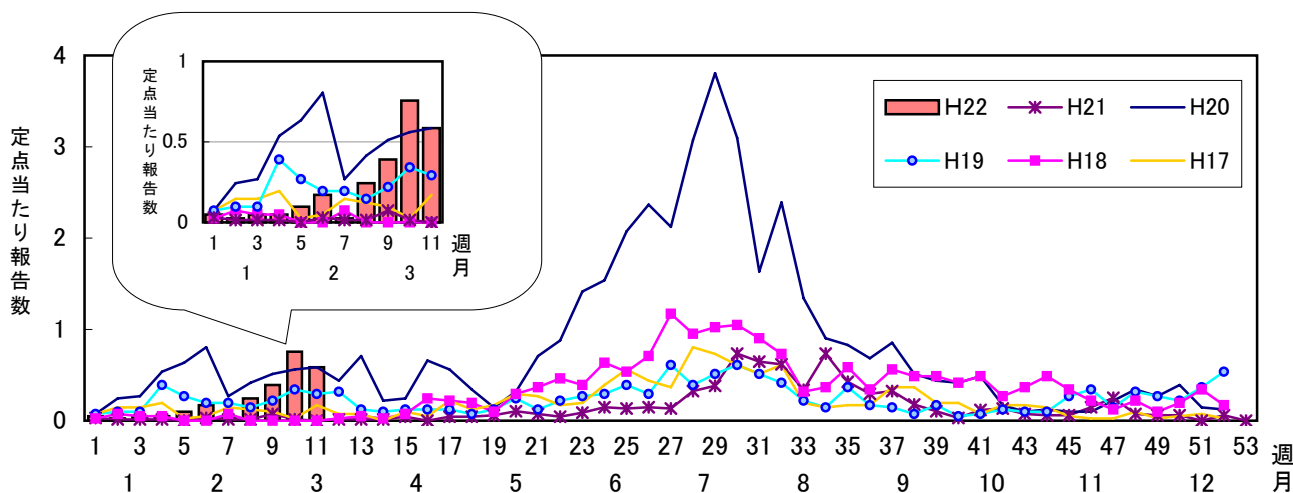
第11週(3月15日～3月21日)トピックス: <手足口病>

定点当たり報告数は、0.59で、先週(0.76)に比べてやや減少しているものの、この時期としては引き続き、多くの報告があります。

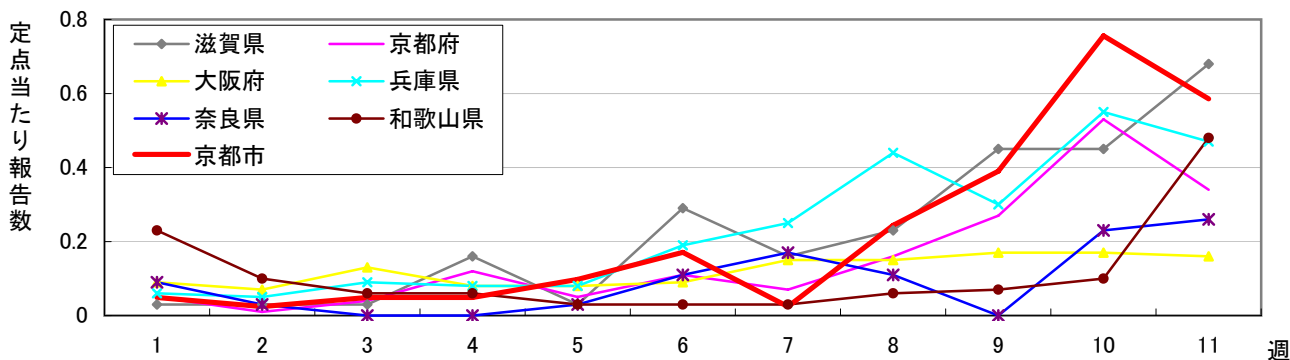
近畿6府県及び京都市の定点当たり報告数をみると、京都市は、滋賀県に次いで多くなっています。

ウイルス検出状況は、京都市では、第10週に掲載したとおり、手足口病の検体からエンテロウイルス71型(EV71)が1例検出されています。EV71は、脳幹脳炎など重篤な中枢神経合併症の発生率が高いことが知られており、全国においても、手足口病由来ウイルスのうち、EV71が最も多く報告されていますので注意が必要です。

本市の定点当たり報告数の推移



近畿6府県及び本市の定点当たり報告数の推移



全国の手足口病由来ウイルスの年別検出状況について

